

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134031101	家庭科教育法C Teaching Method of Home Economics C	三輪 聖子			2	選択	3前期

科目の概要

本科目はライフスタイル学科DPの(3)(4)(6)にある日常生活の衣・食・住などに関連する専門的知識・技能を身に付け、職場や地域で貢献できる人材育成の科目として位置付けられる。担当教員は公立中学校の実務経験を活かして、中学校の家庭科教員を育成するための知識や指導内容・方法を身に付けるための指導をする。技術・家庭「家庭分野」の学習指導要領の目標や学習内容を理解する。また教育実習を前提に教材研究をおこない指導案を作成し、模擬授業を実施する。

学修内容	到達目標
① 中学校技術・家庭「家庭分野」における学習指導要領の目標を理解する。 ② 家庭分野の学習内容について理解する。 ③ 模擬授業のための学習指導案を作成し授業を実施する。 ④ 模擬授業から課題を発見し改善方法を考え実践する。 ⑤ 教員としての心得や姿勢について修得し実行する。	① 中学校技術・家庭「家庭分野」における学習指導要領の目標を説明することができる。 ② 家庭分野の学習内容を理解し説明することができる。 ③ 模擬授業のための学習指導案を作成し授業ができる。 ④ 模擬授業から課題を発見し改善方法を考え実践することができる。 ⑤ 教員としての心得を身に付け実行することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	教員になるために自分のやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目的達成に向かって粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	現状を正しく認識し、不足するところ、改善点を把握できる。
	計画力	模擬授業の指導計画を立てることができる。
	創造力	社会の現状と生徒の実態を把握し、新しい発想で取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	聞き手がどのような情報を求めているのか理解して伝えることができる。
	傾聴力	相手の意見をよく聞き、正確に理解することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果が得られるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など教員になるためのルールやマナーを理解して行動することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

- ・中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(平成29年7月)
- ・「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」 (令和7年度) 東京書籍
- ・国立教育政策研究所 教育課程研究センター 指導資料・事例集
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html>

他科目との関連、資格との関連

家庭科教育法Cは専門科目の教職に関する科目の一部である。家庭科教育法A(134021099)・家庭科教育法B(134022100)で学んできた基礎を踏まえたより実践的な科目である。
 資格との関連は中学校教諭一種(家庭)である。

学修上の助言	受講生とのルール
・教員になりたいという強い気持ちを持ち、学修すること。 ・教員採用試験を意識して、学修に努めること。	・教員になることを自覚し、遅刻、無断欠席、提出物の期限を遵守し規律をもって授業に臨むこと。 ・日々の生活から挨拶、人とのコミュニケーションの取り方などにも気を付ける。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①	✓		【獲得（70％）】 ・中学校技術・家庭科「家庭分野」の目標と家庭分野のA・B・Cの内容について理解できているかを評価する。 【活用（20％）】 ・指導案に活用できているかを評価する。 【解決（10％）】 ・課題を出題し、解決できる対応を考えることができるかを評価する。
				②	✓		
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	20	①			【活用（80％）】 ・学習指導案について題材名、題材目標、題材観、指導計画、評価の観点、本時の目標、指導過程、板書計画等が的確に書かれているかを評価する。 【解決（20％）】 ・授業後の評価についてまとめ、課題と改善方法が示されているかを評価する。
				②			
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①			【獲得（80％）】 模擬授業を実施し、次の観点で評価する。 ・導入の工夫：生徒の興味、関心をもてる工夫があるか。 ・声の大きさ：はっきりと聞き取りやすい声の大きさ、早さか。 ・電子黒板の使い方：黒板のレイアウト、見やすさ、活用の適切さ ・ICTの使い方：活用の適切さ ・教材：生徒の思考と創造力を伸ばす教材か。内容に適した教材か。 ・発問：内容に適した発問か。発問に難易度はあるか。 ・時間配分：全体の時間配分は適当か。予定通りに実施されているか。 ・生徒への配慮：個人の生徒への配慮をしているか。全体の生徒への配慮をしているか。 ・授業に取り組む姿勢：前向きに取り組んでいるか。 【解決（20％）】 模擬授業の中で予期せぬことが起きた場合の対応が適切にできている。
				②			
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		・模擬授業に向けて、新しい教材開発などに自ら積極的に取り組む。（主体性） ・できるだけ粘り強く取り組み、日常生活へ実践的に活用することができる。（実行力） ・模擬授業の目的にあった授業計画を立てることができる。（計画力） ・社会や生徒の現状に合わせた新しい発想で教材を考える。（創造力） ・聞き手の十強を把握して伝えることができる。（発信力） ・相手の意見を正確に聞くことができる。（傾聴力） ・遅刻、約束が守れないなど教員としてのルールやマナーが身に付いている。（規律性）	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S:家庭科の目標・内容について熟知しており、模擬授業において授業目標に対する確かな指導案が作成できる。指導案に沿った授業ができ、課題把握や改善もできる。人としての規律性も守られている。 A: 家庭科の目標・内容を理解しており、授業目標にあった指導案が作成できる。指導案に沿った授業ができ、課題把握や改善もできる。規律性も守られている。	B: 家庭科の内容を理解しており、指導案が作成できる。指導案に沿った授業ができ、課題把握もできる。規律性も守ることができる。 C:指導案が作成できる。模擬授業をおこなうことができる。規律性も守ることができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	中学校 技術・家庭の目標、「家庭分野」の目標・内容構成について確認する。中学校における技術・家庭「家庭分野」が家庭科全体のどのような位置づけにあるかを把握する。	講義・質疑応答	中学校技術・家庭科の家庭分野の目標が理解できる。	(予習)学習指導要領の目標を熟読してくること。 (復習)目標と中学校家庭分野と高校家庭科の関係をまとめること。	150	主体性 発信力 傾聴力
2	学習指導要領に基づくA家族・家庭生活の内容について理解し、ポイントを把握する。その内容の教材研究をする。	講義・グループワーク・質疑応答	自分の成長と家族や家庭生活との関わりが理解できる。	(予習)学習指導要領Aの内容を読んでくこと。 (復習)Aの教材研究をまとめること。	180	主体性 創造力 傾聴力
3	学習指導要領に基づくB衣食住の生活と食生活について理解し、ポイントを把握する。その内容の教材研究をする。	講義・グループワーク・質疑応答	食事の役割、栄養・献立、調理方法(煮る、焼く、蒸す)が理解できる。	(予習)学習指導要領B食生活の内容を読んでくこと。 (復習)食生活の教材研究をまとめること。	180	主体性 創造力 傾聴力
4	学習指導要領に基づくBの衣生活・住生活について理解し、ポイントを把握する。その内容の教材研究をする。	講義・グループワーク・質疑応答	衣服の適切な選択・着用、日常着の手入れ、製作に関する知識・技能を身に付けることができる。 家族と生活空間との関わり、安全を考えた住空間の整え方が理解できる。	(予習)学習指導要領B衣生活・住生活の内容を読んでくこと。 (復習)衣生活・住生活の教材研究をまとめること。	180	主体性 創造力 傾聴力
5	学習指導要領に基づくC消費生活・環境について理解し、ポイントを把握する。その内容の教材研究をする。	講義・グループワーク・質疑応答	金銭管理と購入・環境に配慮した生活の知識及び機能を身に付けることができる。	(予習)C消費生活・環境の内容を読んでくこと。 (復習)C消費生活・環境についてまとめること。	180	主体性 創造力 傾聴力
6	「家庭、技術・家庭(家庭分野)の指導におけるICTの活用について」の動画を見て、今後の模擬授業に活かす方法を考える。	オンデマンドによるオンライン授業	ICTの活用方法について理解できる。	(予習)模擬授業をおこなう単元を考えてくこと。 (復習)学習指導案にICTが活用できるところを考える。	180	主体性 計画力 創造力 傾聴力
7	模擬授業と教育実習のための心構えについて理解する。 模擬授業のための教材研究と学習指導案を作成する。	講義・質疑応答・グループワーク 個人で指導案作成	教育実習に必要なコミュニケーション、服装について理解できる。 学習指導案を作成することができる。	(予習)模擬授業をおこなう単元を考えてくこと。 教師としての心得などを調べてくこと。 (復習)学習指導案を仕上げて、教材を準備すること。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力
8	模擬授業1 A家族・家庭生活の内容の授業をおこない、課題を発見する。	授業実践の発表、ディスカッション ICTの活用 google classroomを活用した課題・指導案提出とフィードバック	50分の授業展開を実施することができ、自己の課題を発見できる。	(予習)家族・家庭生活の内容の教科書を読んでくこと。 (復習)模擬授業の課題をまとめること。	150	主体性 実行力 課題発見力 計画力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	模擬授業2 A家族・家庭生活の内容の授業をおこない、課題を発見する。	授業実践の発表、ディスカッション ICTの活用 google classroomを活用した課題・指導案提出とフィードバック	50分の授業展開を実施することができ、自己の課題を発見できる。	(予習)家族・家庭生活の内容の教科書を読むこと。 (復習)模擬授業の課題をまとめること。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力
10	模擬授業3 B食生活(食事の役割、栄養)の内容の授業をおこない、課題を発見する。	授業実践の発表、ディスカッション ICTの活用 google classroomを活用した課題・指導案提出とフィードバック	50分の授業展開を実施することができ、自己の課題を発見できる。	(予習)食生活(食事の役割と栄養)の内容の教科書を読むこと。 (復習)模擬授業の課題をまとめること。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力
11	模擬授業4 B食生活(食事の役割、栄養)の内容の授業をおこない、課題を発見する。	授業実践の発表、ディスカッション ICTの活用 google classroomを活用した課題・指導案提出とフィードバック	50分の授業展開を実施することができ、自己の課題を発見できる。	(予習)食事の役割と内容の内容の教科書を読むこと。 (復習)模擬授業の課題をまとめること。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力
12	模擬授業5 B食生活(調理と食文化)の内容の授業をおこない、課題を発見する。	授業実践の発表、ディスカッション ICTの活用 google classroomを活用した課題・指導案提出とフィードバック	50分の授業展開を実施することができ、自己の課題を発見できる。	(予習)調理と食文化の内容の教科書を読むこと。 (復習)模擬授業の課題をまとめること。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力
13	模擬授業6 模擬授業6 B衣生活(衣服の選択と手入れ)の内容の授業をおこない、課題を発見する。	授業実践の発表、ディスカッション ICTの活用 google classroomを活用した課題・指導案提出とフィードバック	50分の授業展開を実施することができ、自己の課題を発見できる。	(予習)衣服の選択と手入れの内容の教科書を読むこと。 (復習)模擬授業の課題をまとめること。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力
14	模擬授業7 B住生活(住居の機能、安全な住まい方)の内容の授業をおこない、課題を発見する。	授業実践の発表、ディスカッション ICTの活用 google classroomを活用した課題・指導案提出とフィードバック	50分の授業展開を実施することができ、自己の課題を発見できる。	(予習)安全な住まい方の内容の教科書を読むこと。 (復習)模擬授業の課題をまとめること。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力
15	模擬授業8 C消費生活・環境(金銭の管理と購入)の内容の授業をおこない、課題を発見する。	授業実践の発表、ディスカッション ICTの活用 google classroomを活用した課題・指導案提出とフィードバック	50分の授業展開を実施することができ、自己の課題を発見できる。	(予習)金銭の管理と購入の内容の教科書を読むこと。 (復習)模擬授業の課題をまとめること。	180	主体性 実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134032102	家庭科教育法D	原田 悦子			2	選択	3後期

科目の概要

人々の日常生活を衣・食・住の面から支援することのできる人材を育成するために、中学校家庭科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。なお、本科目はディプロマポリシーDP3にある、「ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付けて、地域再生に貢献することができる」科目として位置付けられる。

学修内容	到達目標
① 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 技術・家庭編の目標や内容を理解する ② 家庭科教育の特性を踏まえて教材研究し、その上で学習指導案の作成をする ③ 基本的な指導技術を身に付け、模擬授業を行う	① 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 技術・家庭編の目標や内容を説明することができる ② 家庭科教育の特性を踏まえて教材研究し、その上で学習指導案の作成をすることができる ③ 基本的な指導技術を身に付け、模擬授業を行うことができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	授業内容について研究を行い、指導案作成に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	様々な授業の手法を研究して、指導案を作成することができる。
考え抜く力	課題発見力	生徒が苦手と思われる箇所を考え、よりわかり安い指導方法を考案することができる。
	計画力	
	創造力	自分が考案した指導方法を用いて授業を行うことができる。
チームで働く力	発信力	模擬授業受講者の反応を見て、授業を工夫しながら進めることができる。
	傾聴力	他の学生の授業をきちんと聞き、正しく評価を行う事ができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業に遅れない、身支度がきちんと出来る。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

＜テキスト＞
 「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 技術・家庭編」文部科学省
 令和7年度中学校技術・家庭科（家庭分野）教科書「生活の土台 共生」開隆堂
 ＜参考文献＞
 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校 技術・家庭）』国立教育政策研究所教育課程研究センター

他科目との関連、資格との関連

これまでに受けてきた家庭科教育法A、B、Cによる指導方法や指導案の書き方をさらに、自らの理解やより良い指導方法を検討する。そのためには栄養や被服、家庭経済など家庭科に関する科目全般の知識を生かし家庭科教員として中学校教諭一種(家庭)及び高等学校教諭一種(家庭)の教員としての資質を高めていく。

学修上の助言	受講生とのルール
・社会で起きている事象（人、もの、こと）について、旬の情報を知り、教材に生かそうとする姿勢をもちましよう。 ・家庭科教育に関する書籍やテキストを読みましよう。	・遅刻は20分以内とする。 ・模擬授業で必要なものは全て各自で準備すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
		レポート	60	①	✓				・模擬授業に向けて作成した学習指導案を評価します。 ・模擬授業後に受けた指導内容をもとに修正した学習指導案を評価します。 ・他者の模擬授業へのコメントを評価します。
				②	✓				
				③	✓				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①					作成した学習指導案をもとに、模擬授業を行ってもらいます。模擬授業の評価ポイントは講義時に伝えます。
				②					
				③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	20	①	✓				（主体性）自ら進んで授業実践について調べ学習を進めているか。 （実行力）授業内容について研究を深め、指導案を作成することが出来る。 （課題発見力）模擬授業を行った後、指導方法の改善案が考えられるか。 （創造力）自ら考案した指導方法で授業を行うことが出来る。 （発信力）受講者の反応に対応して授業を進めることが出来る。 （傾聴力）他の学生の授業を体験し、正しく評価を行う事が出来るか。 （規律性）遅刻・欠席をしない、実習時に身支度がきちんと出来きている。 指導案・レポートを期日までに提出出来るか。	
			②	✓					
			③	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを最大限活用し、自分の言葉で十分に詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って大変円滑に模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを具体的に記述することができる。 A：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを最大限活用し、自分の言葉で詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って円滑に模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを具体的に記述することができる。	B：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントがある程度活用し、自分の言葉で詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを記述することができる。 C：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを活用し、自分の言葉で詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを記述することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ガイダンス 令和の日本型学校教育	講義 グループワーク	令和の日本型学校教育 について理解することが できる	〈予習〉自分の受けてき た学校教育をふりか えってくる 〈復習〉令和の日本型学 校教育についてポイン トを整理する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	学習指導要領（平成29 年告示）	講義	中学校技術・家庭科 （家庭分野）の目標や 内容、指導上の留意点 が説明できる	〈予習〉中学校学習指導 要領（平成 29 年告 示）解説 技術・家庭編 （家庭分野）を読む 〈復習〉中学校学習指導 要領（平成 29 年告 示）解説 技術・家庭編 （家庭分野）のポイン トを整理する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	中学校技術・家庭科 （家庭分野）の教科書 を読み解く	講義 グループワーク	家庭科の学習内容や教 科書の構成を把握する ことができる	〈予習〉指定の教科書を 読む 〈復習〉教科書の内容と 学習指導を確認する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	学習指導案の構成・書 き方	講義 グループワーク	学習指導案の構成を理 解することができる	〈予習〉学習指導案の書 き方を調べる 〈復習〉学習指導案の書 き方のポイントを整理 する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	学習指導案の作成	オンデマンド	中学校技術・家庭科 （家庭分野）の学習作 成する作成することが できる	〈予習〉模擬授業で行 う学習内容を決める 〈復習〉作成した学習 指導案を見直す	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	学習指導案の検討	講義 グループワーク	より良い授業を展開す るために学習指導案を 改善することができる	〈予習〉学習指導案を作 成する 〈復習〉模擬授業にむけ て、学習指導案を修正 する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	模擬授業のシミュレー ション（板書計画、教 材・教具の準備）	講義 グループワーク	模擬授業のシミュレー ションを行い、板書計 画を立てることができ る 自身の模擬授業に沿っ た教材・教具を検討す ることができる	〈予習〉模擬授業用の板 書計画を立てる 〈復習〉模擬授業に向 けて、教材・教具を作成 する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	模擬授業（1）：導入	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を 実施することができる 模擬授業を振り返り、 改善に向けた手立てを 考えることができる他 者の授業に適切なコメ ントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備 をする 〈復習〉振り返りで指摘 された内容を中心に、 学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	模擬授業 (2) : 板書計画	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを、考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	模擬授業 (3) : 教材・教具	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを、考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	模擬授業 (4) : デジタル教科書	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを、考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	模擬授業 (5) : ICT情報機器の活用	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを、考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	模擬授業 (6) : まとめ	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを、考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	模擬授業 (7) : 問い返し	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを、考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	振り返りとまとめ	講義 グループワーク	模擬授業を通して学んだ、教材研究や授業をより良くするために必要なポイントを整理することができる	〈予習〉これまでの授業資料を振り返る 〈復習〉自身が作成した学習指導案を更に加筆・修正する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力